教育総務課
学務課

児童生徒数の増加の見通しと今後の課題について

令和４年１月
定例教育委員会資料
教育総務課・学務課

１．令和４年度以降の長期的な推計

○ 小学校児童の全体数の傾向

児童数	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
総人数	8,257人	8,367人	8,332人	8,345人	8,244人	8,225人	8,063人

［傾向］　令和４年度までは増加傾向、
令和５年度・６年度は、ほぼ横ばい傾向
令和７年度以降は、減少に転ずる推計。

○ 中学校生徒の全体数

児童数	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
総人数	3,524人	3,595人	3,671人	3,776人	3,770人	3,801人	3,767人

［傾向］　令和６年度まで増加傾向、
令和７年度以降は、ほぼ横ばい傾向となる推計。

児童生徒数の増加の見通しと今後の課題について（学務課）

2．「35人学級」への引き下げの段階的な移行

○ 小学校での1学級の児童数が、現行40人から「35人」へ、
令和３年度から令和７年度まで、段階的に引き下げられる。

※ 令和３年度から、小２で開始（ただし、埼玉県独自に、小２までは導入済み）となり、毎年1学年ずつ移行し、令和7年度までに全学年で実施をする。

➡ 令和4年度では、小3が35人学級への移行対象となり、40人学級時と比較すると、学級数が増加する見込みである学校は、以下の5校。（R3.10.1調査時点）

- 「新曽小」
- 「戸田東小」
- 「戸田南小」
- 「新曽北小」
- 「美女木小」

➡ 令和7年度に、小学校全ての学年が35人学級への移行となった際の、戸田市全体の学級数は、40人学級であった時との比較で、２３学級増加する推計。

児童生徒数の増加の見通しと今後の課題について（教育総務課）

3.施設設備の観点から（校舎）

教室不足による校舎の増築及び校舎の老朽化に伴う改築、校舎改修

◎老朽化及び教室不足に伴う改築
①戸田東小学校・戸田東中学校　（令和２年度に校舎完成）
②戸田第一小学校　（令和４年度西棟・令和５年度東棟竣工予定）

◎教室不足に伴う増築
①美女木小学校　プレハブ校舎増築　10教室＋多目的室　（平成29年6月設置）
②新曽中学校北校舎増築（鉄骨造）教室10＋特別教室2　（令和2年2月完成）
③新曽小学校(含給食調理場)教室棟増築等工事
（令和4年度増築校舎･令和6年度改築校舎完成予定）
④芦原小学校（含給食調理場）教室棟増築等工事　（令和5年度増築校舎完成予定）
⑤戸田南小学校教室棟増築等工事設計業務　（令和5年度増築校舎完成予定）

◎教室不足に伴う既存校舎改修
①新曽中学校（平成２年度、理科室１増設）
②笹目中学校（令和３年度、普通教室３増設）
③新曽小学校（令和６年度改修予定、音楽室・理科室各１増設）
④新曽北小学校（令和４年度　普通教室１増設予定）

児童生徒数の増加の見通しと今後の課題について（教育総務課）

4.施設設備の観点から（備品等）

児童・生徒数及び学級数増加に伴う教室備品等購入

◎児童生徒増に伴う机・椅子の購入（消耗品費）

◎教室増に伴う備品の購入（教師用机椅子・ＩＣＴ機器）

◎特別支援学級及び通級指導教室の新設・増設に伴う備品、消耗品費の購入

児童・生徒数と運動場面積について（一人当たりの運動場面積）

◎文部科学省の学校設置基準（第８条　校舎及び運動場の面積等）

・小学校：１０㎡　　・中学校：11.66㎡～１５㎡

参考：戸一小　5.09㎡、戸東小　6.09㎡、戸南小　6.91㎡、新北小　9.03㎡
芦原小　6.07㎡、美谷本小 17.64㎡、笹目小 27.73㎡
喜沢小 21.67㎡　※戸一小、戸東小については改築前のデータです。
新曽中 11.40㎡、戸田中 29.85㎡、美笹中 31.09㎡

※ただし、地域の実態その他により特別の事情があり、かつ、教育上支障がない場合は、この限りでない。